

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-001	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	後方設備内包型3分割シールド・セグメント 組立システムの開発	正	北原 陽一	熊谷組	菊地 幸雄	田中 秀樹	前田 正博	串山 宏太 郎
VI-002	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	溝付き二次覆工一体型セグメントの載荷試験	正	田中 秀樹	ジオスター	焼田 真二	柴田 祐亮	前田 正博	串山 宏太 郎
VI-003	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	内面が平滑な溝付き二次覆工一体型セグメントの継手構造	正	山森 規安	熊谷組	横田 正和	武田 邦夫	前田 正博	串山 宏太 郎
VI-004	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	下水道シールドトンネルにおける二次覆工 工程の省略	正	金崎 伸夫	佐藤工業	前田 正博	串山 宏太 郎	出口 敏行	北原 陽一
VI-005	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	後方設備内包型3分割シールドの開発	正	守屋 洋一	大林組	勝沼 清	関本 昇	前田 正博	串山 宏太 郎
VI-006	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	ガイドローラ付きタイヤ式無操舵搬送システム の開発	正	勝沼 清	コマツ	守屋 洋一	山本 征彦	前田 正博	串山 宏太 郎
VI-007	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	下水道再構築に向けたシールドシステムの 提案	正	桐谷 祥治	佐藤工業	前田 正博	串山 宏太 郎	武田 邦夫	山本 征彦
VI-008	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	レジンコンクリートセグメントに関する適用性 の研究	正	近 信明	竹中土木	斉藤 正幸	石川 隆司	丸尾 幸江	
VI-009	2	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	高松 伸行	シールドトンネル (1)	ケーソンでのシールド直接発進到達工事につ いて	正	深田 和志	銭高組	渋谷 隆	入船 敏彦	竹中 計行	
VI-010	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	高流動コンクリートセグメントの効率的な製 造方法に関する研究(その1)ー早強セメン トの適用による1日2回転製造ー	正	松裏 寛	日本コンクリート工 業	菊 広樹	土田 伸治	吉本 正浩	大野 弘城
VI-011	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	高流動コンクリートセグメントの効率的な製 造方法に関する研究(その2)ーセグメント	正	菊 広樹	日本コンクリート工 業	松裏 寛	土田 伸治	高守 善紀	大野 弘城
VI-012	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	高流動コンクリートを用いた鉄道用セグメン トの現場適用	正	三木 章生	ハザマ	谷口 裕史	秋山 欣也	酒井 精二	渡辺 勇次
VI-013	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	シールド機内覆工への高流動コンクリートの 適用	正	高橋 秀樹	西松建設	田中 隆利	松浦 誠司	西田 德行	
VI-014	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	鋼繊維補強コンクリートを用いたトンネル覆 工板の開発(1)ー強度試験結果ー	正	矢郷 隆浩	佐藤工業	木村 定雄	射場 康平	薄井 泰介	中込 幸信
VI-015	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	鋼繊維補強コンクリートを用いたトンネル覆 工板の開発(2)ー実物覆工板を用いた単体	正	射場 康平	佐藤工業	木村 定雄	秋田谷 聡	津田 達也	
VI-016	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	アクリル樹脂防食被覆工法における耐水 圧、目地追従性能に関する考察	正	中嶋 昭宏	戸田建設	浅井 康彦	甘利 裕二		
VI-017	2	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	片岡 希誉司	シールドトンネル (2)	二次覆工と一体化したコンクリート内面打設 型ダクトイルセグメントの採用及び設計につ	正	白子 慎介	帝都高速度交通 営団	桑田 幸男	天井 永人		
VI-018	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	スライドロックジョイントの開発(その2)ー継 手曲げ試験ー	正	小林 正典	西松建設	荒井 紀之	渡辺 徹	三戸 憲二	
VI-019	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	スライドロックジョイントの開発(その3)ーB Kセグメント組立ー	正	荒井 紀之	西松建設	磯 陽夫	大江 郁夫	野本 雅昭	
VI-020	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	スライドロックジョイントの開発(その4)ーリ ング継手の概要ー	正	野本 雅昭	西松建設	長岡 省吾	中島 昌身	坂田 和也	
VI-021	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	スライドロックジョイントの開発(その5)ーリ ング継手せん断試験ー	正	大江 郁夫	西松建設	小林 正典	飯塚 吉信	長谷川 穂 積	
VI-022	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	PCセグメントトンネルの継手部における止 水試験	学	植益 啓一郎	早稲田大学大学 院	清宮 理	石橋 重幸	太鼓地 敏 夫	岩村 栄世

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-023	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	いも継ぎセグメントの継手部止水性能について	正	宮内 秀樹	東京電力	飯田 博光	富所 達哉		
VI-024	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	リング間に鋼管挿入式継手を用いたセグメントの実証施工	正	片桐 晃	下水道新技術推進機構	河本 武士	井本 厚	若林 正憲	
VI-025	2	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	中川 雅由	シールドトンネル (3)	リング間に鋼管挿入式継手を用いたセグメントの開発	正	峯崎 晃洋	石川島建材工業	石田 修	今井 清史	加藤 雅治	
VI-026	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	MIDTシート工法の開発 その1 MIDTシート工法の概要	正	本間 昭	三井建設	馬場 茂	本田 和之	橋口 彰夫	松森 健次
VI-027	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	MIDTシート工法の開発 その2 室内実験によるMIDTシート工法の性能確認	正	田坂 充人	三井建設	尾田 龍三	山口 和彦	森下 芳行	佐伯 忍
VI-028	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	MIDTシート工法の開発 その3 現場実証施工によるMIDTシート工法の施工性確認	正	兼松 伸次	三井建設	河村 邦基	石田 喜久雄	小林 泰	笠原 淳
VI-029	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	MIDTシート工法の開発 その4 誘導加熱によるシート融着を行った現場施工報告	正	本田 和之	都築コンクリート	本田 和明	田村 直明	杉田 良雄	森田 健次
VI-030	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	RCセグメントの鉄筋量低減に関する研究	正	大野 弘城	東京電力	秋葉 芳明			
VI-031	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	ラッピング工法(トンネル外周被覆工法)の開発	正	島田 哲治	大成建設	原 修一	畑山 栄一	平沢 幸久	藤井 茂男
VI-032	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	ラッピング工法(トンネル外周被覆工法)の開発(その2) トンネル外周被覆工法におけるラッピングシールド工法の実証施工	正	竹本 光慶	奥村組	芳賀 由紀夫	松岡 義治	古屋 岳文	西里 亮
VI-033	2	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	小西 真治	シールドトンネル (4)	ラッピングシールド工法の実証施工	正	栄 毅熾	大成建設	合田 雅朗	芳賀 由紀夫	石関 潤一	原 修一
VI-034	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	親子型高速シールドの開発 ～その1 概要～	正	元木 実	戸田建設	松下 清一	中根 隆		
VI-035	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	親子型高速シールドの開発 ～その2 切削性能～	正	柳楽 毅	戸田建設	請川 誠	中根 隆		
VI-036	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	浅層大断面トンネル工法の適用に関する調査研究(その1)	正	安田 亨	パンフィックコンサルタンツ	田村 武	橋本 正	中井 照夫	芦原 栄治
VI-037	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	浅層大断面トンネル工法の適用に関する調査研究(その3) ケーススタディー1 大断面	正	石田 靖典	大豊建設	福田 正紀			
VI-038	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	浅層大断面トンネルの適用に関する調査研究(その4)	正	東尾 啓司	鹿島建設	山下 良範	岩田 文吾		
VI-039	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	浅層大断面トンネル工法の適用に関する調査研究(その5) ケーススタディー3 柱列支	F	井田 隆久	銭高組	坂山 安男	安田 亨	藤井 康男	廣田 雅博
VI-040	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	浅層大断面トンネル工法の適用に関する調査研究(その6) ケーススタディー4 外殻先行	正	神谷 章	戸田建設	山下 良範	藤本 直昭	福田 正紀	
VI-041	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	高圧ガス管敷設工事における長尺推進管の採用	正	西村 暢明	東京ガス	新海 元	片寄 雄司	南 隆行	
VI-042	3	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	粥川 幸司	シールドトンネル (5)	シールドトンネル用大深度立坑の実績調査	正	滝川 真太郎	中部電力	恒川 修	時田 秀往	高澤 裕二	植村 勇仁
VI-043	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	泥土圧シールドにおける掘削土量管理方法	正	坪井 広美	西松建設	鈴木 久一	村川 徳尚		
VI-044	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	泥土圧シールドによる発生土再利用システムの開発	正	大塚 努	帝都高速度交通営団	藤木 育雄	高橋 純一	藤澤 哲典	軽込 茂

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-045	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	泥土圧シールドにおける自動掘進制御	正	多島 秀司	銭高組	齋藤 優	清水 友博	津賀 克巳	
VI-046	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	ウォータージェット反射音による前方探査システムに関する基礎的研究	学	萩澤 勝	千葉工業大学	秋山 昌史	伊東 良浩	足立 一郎	
VI-047	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	シールド掘進時の地盤挙動解析における裏込め注入圧の設定	正	野口 利雄	熊谷組	垂水 尚志			
VI-048	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	セグメントに作用する土圧の長期計測結果と考察	正	岡市 光司	熊谷・飛鳥・鉄建・ 竹中土木JV	小山 茂	大道 武治	庄司 功	酒本 博
VI-049	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	MFシールドセグメントの長期現場計測	正	加藤 精亮	JR東日本	清水 満	桑原 清	新井 孝弘	団 昭博
VI-050	3	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	栗木 実	シールドトンネル (6)	シールドトンネルが離隔2.6mで交差する際の既設トンネル挙動計測	正	木下 潤一郎	日本シビックコン サルタント	田崎 泰夫	瀧澤 修一	木下 昇	植手 照博
VI-051	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	小口径ハニカムセグメントの開発(1)ーピン継手引抜き試験ー	正	奥野 三郎	奥村組	荒川 賢治	福居 雅也	染谷 洋樹	
VI-052	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	小口径ハニカムセグメントの開発(2)ー継手曲げ試験ー	正	福居 雅也	奥村組	荒川 賢治	柳原 純夫	橋口 彰夫	
VI-053	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	リングロックセグメントによる二次履工省略施工	正	藤本 直昭	フジタ	堀籠 昌弘	吉原 彰宏	矢野 直樹	
VI-054	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	リングロックセグメントによる内水圧トンネルの施工ー芝浦処理場放流渠工事ー	正	田村 直明	三井建設	秋葉 誠	星野 晃	石井 一郎	本田 正人
VI-055	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	軟弱粘性土層における固形回収システムの実証	正	清水 義治	戸田建設	志摩 和夫	中村 太三	中西 清之	
VI-056	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	泥水式シールドにおける裏込材の泥水粘性への影響管理について	正	田畑 覚士	戸田建設	中村 太三	吉田 功	小田 拓	
VI-057	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	スーパーミニ・カーブ工法(小口径曲線推進工法)の施工	正	庄司 和矢	奥村組	三澤 孝史	森田 芳樹		
VI-058	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	先導体回収可能な小口径推進機によるパイプルーフ施工事例	正	本田 諭	JR東日本	森山 智明	桑原 清	関山 貢	山本 善久
VI-059	4	09:00～ 10:30	VI-1	F-101	岡野 法之	シールドトンネル (7)	推進管継ぎ手部止水性評価における計測結果に関する一考察	正	江村 和明	東京電力	浅野 真			
VI-060	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	矩形シールドにおける構造変化点の検討(その1 梁バネモデルを用いた解析)	正	栗山 裕司	鹿島建設	塚下 安彦	畔取 良典	福田 弘昌	
VI-061	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	矩形シールドにおける構造変化点の検討(その2 梁バネモデルとシェルバネモデル)	正	玉田 康一	鹿島建設	井上 豊司	小嶋 勉	中尾 努	栗山 裕司
VI-062	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	複線断面扁平シールドの課題と対応・京都市高速鉄道東西線(六地蔵北工区)	正	菅 一也	鹿島建設	中川 嘉博	北嶋 武彦	溝田 正志	
VI-063	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	高透水性砂礫地盤における密閉型矩形推進の施工	正	高原 正人	鴻池組	片山 英明	名和 芳久	林 茂郎	牛場 修
VI-064	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	回収機能を有する異径断面に対応可能な推進用掘削機の開発	正	鹿野 聡	東京電力	綿引 秀夫	五十嵐 寛 昌	真鍋 智	
VI-065	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	オクトパス工法の開発(その8)ーシールド機幅拡張部の止水技術	正	真鍋 智	鹿島建設	五十嵐 寛 昌	玉井 達郎	永森 邦博	波多腰 明
VI-066	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	挿入式拡張泥水シールド機の開発(4)	正	朝倉 猛	佐藤工業	苦米地 英 俊	小俣 文良	清水 幸範	

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-067	4	10:40～ 12:10	VI-1	F-101	守屋 洋一	シールドトンネル (8)	エアモルタル充填施工時の送水管内温度	正	山本 誠	東急建設	平馬 征三	大橋 潤一		
VI-068	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	補助工法不要のカッタービット交換方法「リ レービット工法」の施工実績報告	正	中川 雅由	鹿島建設	真鍋 智	小坂 彰洋	永森 邦博	石丸 裕
VI-069	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	シールドのスポーク回転式カッタビット交換 工法の開発と実施	正	久原 高志	清水建設	古川 裕	高木 律	小林 芳夫	南 雅史
VI-070	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	超長距離・高速掘進シールドにおけるビット 摩耗特性について	正	深海 仁司	関西電力	田中 一雄	大道 武治	山本 享	脇田 雅之
VI-071	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	想定外の岩盤に対するシールド掘進機での 対応 ー津高幹線における施工報告ー	正	田中 清	熊谷組				
VI-072	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	巨礫層におけるフィッシュテールビットの採 用	正	水澤 陽介	戸田建設				
VI-073	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	学園豊崎間(大阪北部)3工区の超長距離・ 大深度シールド掘進について	正	脇田 雅之	大成・佐藤・間・大 豊・フジタ共同企	小山 茂	渡邊 邦男	喜多 由充	小倉 崇敬
VI-074	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	学園豊崎間(大阪北部)4工区の大深度 シールド掘進推力について	正	大道 武治	関西電力	小山 茂	室田 高志	松本 祥一	上原 隆信
VI-075	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	双頭アンカーセグメントの開発 (その4:継手金物の小型化)	正	請川 誠	戸田建設	松下 清一	多田 幸司	染谷 洋樹	谷崎 樹
VI-076	4	13:00～ 14:30	VI-1	F-101	岡留 孝一	シールドトンネル (9)	ウォームホイール継手の要素実験	正	多田 幸夫	鹿島建設	永森 邦博	古市 耕輔	玉田 康一	矢島 大
VI-077	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	重要構造物近傍でのMJS工及び立坑鋼矢 板引抜き方法の検討	正	手塚 広明	前田建設工業	山崎 一政	平田 憲光	舘山 洪八	林 幹朗
VI-078	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	非開削工法によるシールドトンネルの撤去	正	竹鼻 淳志	首都高速道路公 団	多田 浩治	石田 高啓	並川 賢治	倉持 豊
VI-079	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	近接工事での地下水位低下が既設構造物 に及ぼす影響	正	梅田 祐樹	JR九州	家入 啓輔	石井 淳治	本山 彰彦	
VI-080	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	景観を考慮した軟弱地盤上の補強盛土の 施工	正	山崎 聡	JR東日本	佐々木 敏 也	餘目 祥一		
VI-081	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	河川内への鋼殻ケーソン吊降しとその ジャッキ管理	正	関口 高志	戸田建設	三浦 道夫			
VI-082	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	刃口推進による支障物撤去と埋め戻し	正	桑原 清	JR東日本	樋原 敏美	町永 俊洋		
VI-083	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	シールドマシン引抜き工事(その2ー施工計 画ー)	正	榎原 健治	日本建設業経営 協会	岩淵 常太	加藤 修一	篠崎 哲也	保立 尚人
VI-084	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	シールドマシン引抜き工事(その1ー施工基 準の算定ー)	正	篠崎 哲也	日本建設業経営 協会	岩淵 常太	榎原 健治	加藤 修一	片野 孝治
VI-085	4	14:40～ 16:10	VI-1	F-101	白砂 健	施工計画	総支保工による大型PCタンクの施工	正	滝谷 正幸	熊谷組	田中 一	沼口 宜久	梶 好延	
VI-086	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	多種の混和材を用いたハイペースRCCの フレッシュ性状と圧縮強度	正	山下 雄一	ハザマ	天明 敏行	藤田 司	村上 裕治	菅 経城
VI-087	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	環境に優しいダム用コンクリート運搬設備の 開発	正	福元 洋一	清水建設	嶋田 洋	佐藤 良一		
VI-088	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	流砂によるコンクリート製水路の摩耗におけ る細骨材率の影響	正	新井 宗之	名城大学	柴田 賢吾			

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-089	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	プレキャスト通廊の試験湛水期間中の挙動	正	白根 勇二	前田建設工業	稲留 裕一	市山 健二	赤坂 雄司	
VI-090	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	混和材がコンクリートダム建設におけるCO2削減効果に与える影響	正	金子 裕司	土木研究所	吉田 等	佐々木 隆	市原 裕之	
VI-091	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	ダム堆砂と流木チップを用いた焼成体の基本特性について	正	大矢 通弘	ハザマ	後藤 孝臣	内藤 斉	高橋 博	
VI-092	2	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	溝淵 利明	ダム(1)	ダム貯水池堆積物の有効利用と焼成処理に関する考察	正	後藤 孝臣	中部電力	内藤 斉	大矢 通弘	天明 敏行	村上 祐治
VI-093	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	既設アースフィルダム耐震補強工法の検討ー山口貯水池堤体強化工事(その1)ー	正	下倉 宏	日本工営	町田 秀	佐久間 薫	加藤 正樹	江藤 等
VI-094	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	アースフィルダム耐震補強工事における既設構造物撤去実績 ー山口貯水池堤体強化	正	神戸 隆幸	鹿島建設	田口 靖	高田 武	濱 建樹	菅原 俊幸
VI-095	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	アースフィルダム耐震補強工事における補強盛土盛立時の安定性検討ー山口貯水池堤体強化工事(その3)ー	正	藤崎 勝利	鹿島建設	田口 靖	高田 武	菅原 俊幸	北本 幸義
VI-096	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	アースフィルダム耐震補強工事における補強盛土盛立時の堤体挙動予測解析ー山口貯水池堤体強化工事(その4)ー	正	村上 武志	鹿島建設	田口 靖	森川 誠司	岡本 道孝	濱 建樹
VI-097	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	著しいスレーキングを起こすダム基礎岩盤の劣化防止対策について	正	明石 健	西松建設	田辺 敏夫	阿部 直	伊藤 裕之	高橋 一太
VI-098	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	ダムサイト掘削斜面の安定性に関する解析的評価の試み	正	野中 樹夫	水資源開発公団	木戸 研太郎			
VI-099	2	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	吉田 等	ダム(2)	フォームドアスファルト混合物のアスファルト遮水壁への適用性に関する検討	正	海老沢 秀治	鹿島道路	大野 俊夫	堀川 明広	山埜井 明弘	
VI-100	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	自動化骨材プラントによる骨材製造	正	富森 淳	ハザマ	麻生 公裕	本山 康貴	榎本 教隆	
VI-101	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	本体ダムの掘削ズリを利用したCSG施工	正	川口 昌尚	戸田建設	大藪 勝美	江頭 正基	宮原 好幸	永田 裕規
VI-102	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	二系列MYーBOXによるCSG製造	正	永田 裕規	戸田建設	大藪 勝美	江頭 正基	宮原 好幸	川口 昌尚
VI-103	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	堤内仮排水路閉塞工への高流動コンクリートの適用	正	佐原 晴也	日本国土開発	廣川 正英	林 伊佐雄	田中 源吾	
VI-104	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	コンクリートダムの細・粗骨材の急速品質管理手法の確立	正	国峯 紀彦	ハザマ	陣門 謙一			
VI-105	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	堤内仮排水路閉塞工に適用した高流動コンクリートの品質	正	山内 匡	日本国土開発	庄司 芳之	岩崎 則夫	原田 尚幸	
VI-106	2	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	上垣 義明	ダム(3)	材料分離が高流動コンクリートの性状に及ぼす影響	正	小堀 俊秀	土木研究所	吉田 等	佐々木 隆	町田 宗久	黒羽 陽一郎
VI-107	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	建設災害と施工段階における公共発注機関の責任	学	宋 虎斌	東京大学	岩橋 健定	國島 正彦		
VI-108	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	シンガポールにおける労働安全マネジメント・システムの動向	正	花安 繁郎	産業安全研究所				
VI-109	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	PC橋架設時における安全管理支援システム ー事故事例の共有化とビジュアル化ー	正	張 建東	ピー・エス	毛利 俊彦	杉田 篤彦	金沢 吉彦	城尾 和秀

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-110	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	PC橋架設時における安全管理支援システム ーユーザーインタフェイスへのラフ集合 送出し工法による橋梁架設時の安全管理 支援システムの開発	学	岸田 岳	関西大学大学院	広兼 道幸	小森 宏昭	白 星保	藤井 友行
VI-111	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	土石流による労働災害防止に関する調査と 土石流検知システムの開発	正	小西 日出幸	日本橋梁	中野 克哉	荻野 啓	江藤 修一	大塚 剛
VI-112	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	現場避難実験による土石流発生時の避難 時間に影響を及ぼす要因の検討	正	堀井 宣幸	産業安全研究所	豊澤 康男	橋爪 秀夫	大野 陽子	丸山 憲治
VI-113	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	深い通信用マンホールの換気特性について	正	豊澤 康男	産業安全研究所	堀井 宣幸	玉手 聡	丸山 憲治	橋爪 秀夫
VI-114	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	音響的手法の地滑り予知システムへの応用 に関する基礎研究	正	小松 秀一	NTT	藤橋 一彦	深瀬 秋稔		
VI-115	2	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	深川 良一	安全管理	大水深構造物沈設システムの開発	正	Gazi Jubayet Jalil	希望社	鳥居 邦夫	宮木 康幸		
VI-116	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	近接施工における構造物の3次元変位自動 計測について	正	古川 敦	熊谷組	桑原 清	石田 芳行		
VI-117	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	大型カルバートけん引工事における供用線 路面沈下測量システムの構築 ―関越自動 車道嵐山地区管渠工事―	正	齋藤 優	銭高組	高階 守	高原 良太	千葉 博治	鈴木 雅博
VI-118	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	鉄道営業線直下におけるNATMの計測・安 全管理	正	永井 宏昌	東急設計コンサル タント	小林 理志	関 聡史	高橋 忠	岩村 巖
VI-119	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	トンネル上部大規模開発に伴うトンネル防 護と計測管理	正	奈良 利孝	東日本旅客鉄道	山根 寛	田代 利和	斎藤 公男	
VI-120	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	変状トンネルモニタリングへの光ファイバー センサーの適用	正	坂田 英一	ハザマ	山下 英俊	桑原 正	志賀 正延	今井 淳次 郎
VI-121	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	光ファイバFBGセンサによる多点計測シス テムの開発	正	土谷 雅人	エーティック	共 放鳴	日向 洋一		
VI-122	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	光ファイバセンサによる地中埋設ガス導管 のひずみ計測への適用試験	正	岡田 敬一	清水建設	熊谷 仁志	西村 暢明	佐々木 太 郎	白石 理人
VI-123	3	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	平田 篤夫	計量・計測(1)	全方位測定傾斜計の開発	正	目野 豊	中央復建コンサル タンツ	夏川 亨介	蜂須賀 義 文		
VI-124	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	画像解析によるひずみと応力測定について	正	熊谷 幸樹	飛島建設	近久 博志	小林 薫	中原 博隆	松元 和伸
VI-125	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	カラー画像を用いた代替ターゲットの自動抽 出に関する研究	正	八木 和也	横河技術情報	宮木 康幸	鳥居 邦夫		
VI-126	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	CCDカメラ斜面監視システムを用いた地す べり予知に関する研究	正	別所 正治	横河工事	宮木 康幸	鳥居 邦夫		
VI-127	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	精密写真測量による法面挙動の評価方法 に関する室内実験について	正	松元 和伸	飛島建設	近久 博志	小林 薫	中原 博隆	筒井 雅行
VI-128	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	精密写真測量による切土法面の挙動監視 について	正	阿保 寿郎	飛島建設	近久 博志	中原 博隆	筒井 雅行	谷 信弘
VI-129	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	法面の挙動監視における精密写真測量の 評価について	正	中原 博隆	飛島建設	近久 博志	筒井 雅行	熊谷 幸樹	藤井 政博
VI-130	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	3次元レーザーミラースキャナーを用いた土 量計測システムの構築	正	清水 哲也	タクモ	村山 盛行	大津 慎一	佐田 達典	

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-132	3	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	笹尾 春夫	計量・計測(2)	3次元レーザミラースキャナーを用いた土 量計測方法の検討	正	村山 盛行	フィールドテック	清水 哲也	大津 慎一	佐田 達典	
VI-133	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	深浅測量データを活用した層厚管理システ ムの開発	正	岸本 和重	東洋建設	相川 秀一	中嶋 道雄		
VI-134	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	地盤応答特性を用いた締固め度の評価方 法およびRIとの相関について	正	大西 崇士	不動建設	緒方 健治	益村 公人	黒台 昌弘	
VI-135	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	光ケーブルを用いた総合施工管理システム の開発・導入	正	澤 正樹	間組	大前 延夫			
VI-136	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	奥只見増設発電所地下掘削における振動 制御発破の方法について	正	旭 剛志	電源開発	橋本 長幸	吉村 光夫		
VI-137	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	破砕帯における山岳トンネル交差部の情報 化施工	正	須賀 敦	鹿島建設	福井 隆晴	平井 敏昭		
VI-138	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	GPS測量値と航空写真測量値を利用した地 球統計手法による測量精度の向上	正	本多 眞	清水建設	河野 重行	大矢 隆二	重元 智史	小松 義典
VI-139	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	GPSを用いた「造成工事支援システム」の開 発	正	齊藤 重明	西松建設	木村 哲	杉村 正次	堀場 夏峰	齋藤 潤
VI-140	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	土工事における情報化施工事例	正	早崎 勉	鹿島建設	越谷 信行			
VI-141	4	09:00～ 10:30	VI-2	F-102	皆川 勝	情報化施工・ GPS(1)	土工管理システムを利用した大規模土工事 の現場管理	正	目黒 智也	間組	大前 延夫	奥村 敬司	沖 政和	
VI-142	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	RTK-GPSを用いた車両動態観測実験	正	町田 聡	パシフィックコンサ ルタンツ	吾田 洋一	中辻 隆	吉岡 正泰	
VI-143	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	GPS仮想基準点方式の広域計測実験	正	佐田 達典	三井建設	大津 慎一	清水 哲也	村山 盛行	
VI-144	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	従来型RTK-GPSとGPS仮想基準点方式と の比較実験	正	大津 慎一	三井建設	佐田 達典	清水 哲也	村山 盛行	
VI-145	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	GPSを活用したのり面防災システムの開発	正	石川 達也	東海旅客鉄道	関 雅樹	荒鹿 忠義	鈴木 繁	初本 慎太郎
VI-146	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	丘陵地帯におけるGPS締固め管理システ ムの効率的な運用方法について	正	黒台 昌弘	ハザマ	里深 一浩	荒川 一成	大西 崇士	
VI-147	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	ナローマルチ等の新技術を活用した盛砂の 施工管理方法	正	草野 博哉	東洋・大旺・前田・ 三井・りんかい・浅	古川 好男	相川 秀一	加藤 直幸	
VI-148	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	GPSを用いた広域地盤沈下調査に関する研 究	正	大東 憲二	大同工業大学	松田 康弘	山根 宏之		
VI-149	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	GPSベースの各種計測システムのための運 用評価ツールの構築	正	堀場 夏峰	西松建設	木村 哲	杉村 正次	齋藤 重明	齋藤 潤
VI-150	4	10:40～ 12:10	VI-2	F-102	三浦 悟	情報化施工・ GPS(2)	GPSによる変位計測結果の処理	学	松田 浩朗	山口大学大学院	西村 好恵	清水 則一		
VI-151	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	GPSとジャイロを用いた締固め管理システム	正	皿海 章雄	清水建設	片寄 学	竹野 毅	森下 裕史	
VI-152	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	GPSシステムによる盛土の施工規定方式の モデル施工	正	竹野 毅	日本道路公団	片寄 学	森下 裕史	皿海 章雄	
VI-153	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	Web3D技術を用いた施工状況Web表示機能 の開発	正	藤原 祐一郎	鴻池組	川田 貢	浜田 延卓	鈴木 隆	

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-154	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	第二東名における規模土工の合理化施工法の開発ーIT土工システムDREAMー	正	片寄 学	日本道路公団	小林 隆幸	板垣 光春	竹野 毅	川崎 廣貴
VI-155	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	ニューラルネットワークを用いたコンクリート締固め判定システムに関する研究	正	三澤 孝史	奥村組	栗本 雅裕			
VI-156	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	ニューラルネットワークを用いた土砂災害発生予測手法に関する一考察	正	舟橋 秀磨	東海旅客鉄道	時任 俊一	内藤 繁		
VI-157	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	DEAを用いたがけ崩れ発生限界雨量線の設定に関する研究	正	佐藤 文晴	山口大学	荒川 雅生	鉄賀 博己	中山 弘隆	古川 浩平
VI-158	4	13:00～ 14:30	VI-2	F-102	高橋 祐治	知的情報処理	RBFネットワークによる斜面要因を考慮した非線形がけ崩れ発生限界雨量線の設定手法	正	倉本 和正	中電技術コンサル タント	守川 倫	鉄賀 博己	荒川 雅生	中山 弘隆
VI-159	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	土地分類細部調査情報の提供と管理・運用について	学	山口 和伸	東京理科大学	大林 成行	小島 尚人	高井 正子	
VI-160	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	自然シラス斜面の崩壊危険箇所評価における衛星熱赤外情報と植生指標の適用効	学	伊代田 尚志	東京理科大学	大林 成行	北村 良介	小島 尚人	
VI-161	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	衛星リモートセンシングデータを用いた高精度土地被覆情報取得に関する基礎研究	学	地引 賢	茨城大学大学院	町田 聡	桑原 祐史	小柳 武和	
VI-162	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	北関東自動車道周辺を対象とした数値地理情報の作成と集計・表現の工夫	学	八町 武志	茨城大学	桑原 祐史	小柳 武和	志摩 邦雄	
VI-163	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	衛星リモートセンシングデータを用いた茨城県北部の植生活力経年変動解析	学	渡邊 隆寛	茨城大学	桑原 祐史	小柳 武和	志摩 邦雄	
VI-164	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	高解像度衛星データの利用を前提とした建物密集度の広域的な分析の試み	正	熊谷 樹一郎	摂南大学	卜部 裕満	東坂 一人		
VI-165	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	細密数値情報を利用した公園配置に関する空間分析	学	卜部 裕満	摂南大学	熊谷 樹一郎	東坂 一人		
VI-166	4	14:40～ 16:10	VI-2	F-102	長峯 洋	GIS	橋梁を対象としたGIS利用のためのCADデータの表現方法の検討	学	中村 修策	関西大学	三上 市藏	田中 成典	窪田 諭	
VI-167	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	GFRP引抜き材を用いた既設RC床版鋼板桁橋の補強に関する研究	正	Abdullah Basem	広島工業大学	日野 伸一	勝野 壽男	太田 俊昭	池村 尚哉
VI-168	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	既設RC中空床版橋の劣化調査および補修方法の検討	正	本莊 清司	日本道路公団	古賀 文俊	井手上 文雄	丸屋 剛	谷口 秀明
VI-169	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	既設RC中空床版橋におけるウォータージェットはつり工法と断面修復工法の検討	正	谷口 秀明	住友建設	本莊 清司	上橋 孝志	奥田 和浩	古江 隆朗
VI-170	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	コンクリート床版を有する上フランジ高力ボルト継手の補強工法に関する一考察	正	山口 良弘	神戸高速鉄道	吉川 紀	岡田 洋平		
VI-171	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	鋼トラス桁の腐食損傷に対する耐力評価と対策工	正	阿部 允	BMC	茂木 初邦	井上 英一	浅岡 敏明	大谷 直生
VI-172	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	変状したトラス下弦材の取替並びに補修	正	佐藤 清一	JR東日本	伊藤 昭夫	山田 正人	宮西 正人	
VI-173	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	外ケーブルによる桁の補強に関する基礎的研究	学	福島 啓之	東洋大学	新延 泰生	樋口 幸太郎		
VI-174	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	フランジガセット溶接部の溶接欠陥を考慮した疲労強度改善工法の検討	正	三品 雄亮	JR東海	三浦 丈司	中嶋 繁	鍛冶 秀樹	
VI-175	2	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	町田 文孝	リニューアル(1)	鉄桁部材交換試験について	正	筑摩 栄	東海旅客鉄道	森川 昌司	鈴木 亨	伊藤 祐一	三品 雄亮

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-176	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	トンネル活線拡幅工事における覆工調査	正	山本 徹	佐藤工業	伴 享	篠川 俊夫	歌川 紀之	中村 英孝
VI-177	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	性能に着目した地盤構造物の維持管理手法に関する基礎的研究 一道路トンネルの	学	竹下 揚子	長崎大学	棚橋 由彦	蔣 宇静	吉田 直紹	
VI-178	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	石勝線第4紅葉山トンネルにおける地すべり対策	正	海原 卓也	JR北海道	小西 康人	吉野 伸一		
VI-179	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	アーチ開削工法を用いた活線拡幅道路トンネル	正	高根 務	オリエンタルコンサルタンツ	出本 剛史	北原 次男		
VI-180	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	アーチ開削工法を用いた活線拡幅道路トンネル(その2 トンネルの拡幅施工)	正	秀島 康史	竹中土木	廣田 収	過能 一郎	出水 剛史	
VI-181	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	アーチ開削工法を用いた活線拡幅道路トンネル(その3 情報化施工)	正	福本 忠浩	竹中土木	平井 卓	上野 弘	日根 幸雄	出本 剛史
VI-182	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	光ファイバセンサを用いたトンネル構造物監視について	正	高塚 外志夫	NTTインフラネット	藤橋 一彦	橋本 暁典	奥津 大	
VI-183	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	レンガ積み覆工トンネルの変状特性と検査の着眼点	正	荒木 弘祐	JR西日本	櫛田 正人	鈴木 秀門		
VI-184	2	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	松田 敏	リニューアル(2)	導電塗料を用いたひび割れ検知システムの研究	正	岡田 岳彰	鉄道総合技術研究所	小西 真治	毛利 豊重	建山 和由	
VI-185	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	大口径管渠補修工法の開発(その1)～工法概要と施工性試験～	正	楨本 太司	芦森エンジニアリング	瀬下 雅博			
VI-186	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	大口径管渠補修工法の開発(その2)～外圧強度への効果～	正	佐野 祐一	鴻池組	秋山 暉	森中 宏和		
VI-187	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	下水処理施設における基礎杭の耐震補強事例	ASC	林田 岳士 E	住友建設	瀬戸 三男	三輪 誠治	豊田 和文	左子 斉
VI-188	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	電気化学的犠牲材料の基礎試験と実橋への適用	正	小出 剛	電気化学工業	原 与司人	藤原 申次	藤井 大三	
VI-189	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	鉄筋挿入工法による石積擁壁の耐震補強効果と試験施工	正	河畑 充弘	帝都高速度交通営団	倉持 典夫	神部 道郎	西村 正和	須藤 幸司
VI-190	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	実橋における耐候性橋梁の追跡調査計画	正	石崎 嘉明	阪神高速道路管理技術センター	石井 康裕	南條 耕平	荒川 貴之	
VI-191	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	新設トンネル掘削部直上にある鉄道既設トンネルの防護	正	長岡 啓一郎	東京急行電鉄	小林 理志	諫山 啓	高田 英二	中川 克洋
VI-192	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	ウォータージェット工法の性能及び環境評価を目的とした試験施工	正	藤原 申次	JR西日本	松田 好史	田辺 深	森 泰樹	
VI-193	2	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	佐野 正	リニューアル(3)	長期防錆型塗装系の暴露試験結果及びその評価	正	大西 貴浩	本州四国連絡橋公団	川上 賢明			
VI-194	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	リスクを考慮したRC構造物のLCC評価手法	正	泉 博允	大成建設	小山 哲	武田 均	鵜澤 哲史	中村 孝明
VI-195	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	舗装台帳データを用いたライフサイクルコストに関する研究	学	江頭 伸彦	北海道大学大学院	作田 真弓	高野 伸栄	森吉 昭博	
VI-196	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	全体系リニューアル最適化システムへのウィルス進化型遺伝的アルゴリズムの適用	学	田丸 伸一	関西大学大学院	古田 均	斎藤 麻紀子	井田 隆義	納田 高志
VI-197	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	構造物の保守管理システムの作成	正	稲葉 智明	鉄道総合技術研究所	棚村 史郎	齊藤 正人	西山 誠治	佐藤 辰巳

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-198	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	加速度計による橋梁の劣化モニタリングシステム	正 共	放鳴	エーティック	舟田 幸太郎	佐々木 聡		
VI-199	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	画像モバイル伝送を利用した維持管理の現状とその評価について	正	小林 一人	構研エンジニアリング	佐藤 昌志	星 卓見	平間 和夫	後藤 雪夫
VI-200	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	ネットワークを用いた合意形成型最適工程可視化システム(4D-CICC)の構築	学	増田 敦彦	熊本大学大学院	緒方 正剛	小林 一郎	山本 一浩	
VI-201	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	鉄筋コンクリート表面保護工施工の際の素地調整に関する研究	正	森川 昌司	東海旅客鉄道	久保 淳一郎	関 雅樹	長谷川 昌明	
VI-202	2	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	青柳 薫	リニューアル(4)	大阪湾沿岸部の鋼橋の塗膜状況調査結果	正	吉川 紀	大阪工業大学	山口 良弘	村田 修一	岡本 功	
VI-203	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	実大三次元震動破壊実験施設(E-defense)を使用したRC構造物の破壊実験計画	正	岡本 晋	防災科学技術研究所	大谷 圭一	加藤 敦	岡 正治郎	
VI-204	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	新素材を複合させた柱列式連続壁(SEW)工法の開発 一継手選定曲げ試験一	正	竹中 計行	銭高組	深田 和志	谷口 良一	山内 秀夫	
VI-205	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	JESエレメントの軸方向の接合方法	正	安田 壽男	JR東日本	羽生 健	町永 俊洋		
VI-206	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	鋼アーチ支保工のウイングリブを代替するウイングパイプの載荷試験	正	木下 泰範	マシノスチール	竹田 稔	西原 直哉		
VI-207	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	ハーフプレキャスト工法における部材の一体化に関する実験的研究	正	上村 浩茂	日本サミコン	鈴木 秀和	前川 幸次	渡辺 康夫	
VI-208	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	防汚機能を有する光触媒の壁高欄への試験塗布(コーティング)施工	正	赤松 政彦	川崎重工業	橋本 靖智	井村 達哉	寺田 誠二	
VI-209	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	トンネル保守管理システムの開発(その1)ーシステムの機能と特長についてー	正	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道	渡邊 恭崇	中山 忠雅	村田 一郎	
VI-210	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	トンネル保守管理システムの開発(その2)ー開発基本方針とシステム構成ー	正	村田 一郎	ジェイアール西日本コンサルタンツ	中山 忠雅	鈴木 秀門	岸田 良平	
VI-211	3	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	入矢 桂史郎	技術開発(1)	通信用非開削曲線推進対応管路(フリースペース中口径管路)の開発	正	中平 伸治	NTTアクセスサービスシステム研究	本田 健一	玉井 賀行		
VI-212	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	ネオ・アッシュクリート(NAクリート)を用いた消波ブロックの製造試験	正	斉藤 栄一	ハザマ	斎藤 直	半沢 稔	浜田 純夫	松尾 栄治
VI-213	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	管中混合固化処理工法による水中打設における強度と混練について	正	小川 元	佐伯建設工業				
VI-214	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	トレンチャー式攪拌機による新幹線盛土支持地盤改良	正	芳賀 芳治	戸田建設	平野 真	山洞 晃一		
VI-215	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	可塑性裏込め注入材による橋脚基礎洗掘部への水中充填施工について	正	面高 安志	住友大阪セメント	新堀 敏彦	松田 芳範	中山 台三	大黒 義男
VI-216	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	天然ガス岩盤内貯蔵における気密材の変形挙動に関する室内試験	正	若林 成樹	清水建設	八田 敏行	熊坂 博夫	多田 浩幸	
VI-217	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	天然ガス岩盤内貯蔵における気密材室内試験に対する数値解析の適用性について	正	八田 敏行	清水建設	熊坂 博夫	若林 成樹	多田 浩幸	
VI-218	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	あと施工樹脂アンカー工法の省力化施工法	正	栗原 慎介	ショーボンド建設	加藤 暢彦	知崎 桂三		
VI-219	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	ハーフプレキャスト梁・スラブの組立施工実験	正	服部 尚道	東急建設	宮城 敏明	玉井 真一	小西 哲司	

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-220	3	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	児玉 一夫	技術開発(2)	複合構造橋脚用鋼管の接着剤による現場 継手工法に関する実験的研究	正	西海 健二	新日本製鐵	安達 行男	高橋 昭一	長田 光司	石垣 修二
VI-221	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	変状地山における切羽評価について	正	津田 幸司	清水建設	佐藤 純一	榎田 庸洋		
VI-222	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	膨張性を伴うトンネルの変位と地山強度特 性	正	石垣 和明	戸田建設	小野寺 泉	佐藤 文和		
VI-223	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	変断面トンネル覆工の3次元有限要素解析 について	正	伊藤 浩志	五洋建設	渡邊 伸弘	武内 秀木		
VI-224	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	浅層大断面トンネル工法の適用に関する調 査研究(その2) 浅層トンネルのメカニズム	正	小嶋 勉	中央復建コンサル タンツ	田村 武	濱手 慎也	市川 真治	長屋 淳一
VI-225	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	双設トンネルにおけるトンネル荷重発生機 構に関する研究	正	小川 澄	日本道路公団	池添 敏	伊藤 省二	畔高 伸一	手塚 仁
VI-226	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	現場計測データによるめがねトンネルの力 学的挙動の検討	学	青木 宏一	山口大学大学院	上村 正人	中川 浩二	河原 幸弘	
VI-227	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	めがねトンネル掘削に伴う支保の発生応力 に関する考察	正	岡本 哲也	熊谷組	阿久津 勝 男	久保沢 公 利	片桐 朗	
VI-228	4	09:00～ 10:30	VI-3	F-201	大泉 英俊	山岳トンネル(1)	大量湧水を伴う未固結砂岩層での変状対 策	正	若林 宏彰	鴻池組	松山 健司	田畑 正昭	斎藤 泰信	山田 浩幸
VI-229	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	合理的な支保パターン決定への前方探査 データの活用例	正	山本 浩之	ハザマ	笠 博義	大沼 和弘	桐原 章浩	
VI-230	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	トモグラフィの弾性波探査解析による解析 速度値の信頼性評価	正	井上 浩一	ロード・エンジニア リング	三木 茂	河原 幸弘	中川 浩二	
VI-231	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	TBM先進導坑壁面情報を用いた不連続面 評価とキープブロック連続解析システムの開	正	南 浩輔	前田建設工業	久慈 雅栄	三宅 克哉	野村 義孝	
VI-232	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	新しいトンネルの先受け注入材の原位置試 験結果について	正	岩野 圭太	鹿島建設	山本 拓治	伊達 健介	日比谷 啓 介	関 政男
VI-233	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	地すべり跡地における坑口部補助工法の設 計と効果	正	井上 雅人	鴻池組	井越 邦彰	和久田 睦	山田 浩幸	
VI-234	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	新しい長尺鏡ボルト工法について	正	中田 雅夫	三井建設	矢萩 俊二 郎	羽馬 徹	田村 富雄	
VI-235	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	ネジ付ケーブルボルトの開発と試験施工	正	栗林 勇司	清水建設	宮沢 和夫	今津 雅紀	服部 修一	藤田 農武 也
VI-236	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	放電衝撃破砕技術を用いた高速道路車道 用連絡坑の拡幅	正	山田 義教	ハザマ	水端 八朗	笠 博義	清水 学	荒井 浩成
VI-237	4	10:40～ 12:10	VI-3	F-201	村山 秀幸	山岳トンネル(2)	鉄道営業直下のNATM施工に伴う地下水位 低下工法	正	関 聡史	東京急行電鉄	津守 澄男	高橋 忠	岩村 巖	永井 宏昌
VI-238	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	アルカリフリー液体急結剤を用いる吹付けコ ンクリートによる発生粉じんの抑制と跳ね返	正	坂口 和雅	鴻池組	川添 純雄	富澤 直樹	川上 正史	為石 昌宏
VI-239	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	ポリマーセメント系充填材の湧水下での適 用性検討と実施事例の報告	正	澤田 正雄	清水建設	河野 重行	伊勢 寿一	黒崎 富士 美	
VI-240	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	圧縮空気をを用いない吹付け方式の試験施 工	正	三河内 永康	フジタ	野間 達也	中川 常雄	大槻 剛士	浅田 浩章
VI-241	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	高流動コンクリートを用いた矩形断面トン ネル覆工の施工	正	佐藤 常雄	銭高組	若杉 芳昭	原田 義幸	河野 和彦	岩崎 則夫

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-242	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	切削即時充填式プレライニング工法用急硬性コンクリートの配合選定ー横浜横須賀道路吉井トンネルの例ー	正	谷口 裕史	ハザマ	割田 巳好	青山 昌二	篠崎 秀敏	長沢 教夫
VI-243	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	切削即時充填式プレライニング工法用急硬性コンクリートの温度変化に伴う配合修正方法	正	荒木田 憲	ハザマ	稲葉 秀雄	谷口 裕史	割田 巳好	青山 昌二
VI-244	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	プレキャストパネルを用いたトンネル接合部の覆工工法	正	赤坂 雄司	前田建設工業	佐々木 博一	盛 春雄	志田 孝司	
VI-245	4	13:00～ 14:30	VI-3	F-201	後藤 有志	山岳トンネル(3)	立坑における急速覆工システムの開発	正	野間 達也	フジタ	土屋 敏郎			
VI-246	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	既設橋脚の健全度調査へのウェーブレット同定の適応性に関する一検討	正	山本 和宏	神戸大学	庄 健介	北村 泰寿		
VI-247	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	トンネル覆工表面撮影手法の検討	正	井上 英司	JR西日本	櫛田 正人			
VI-248	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	既設高架橋におけるコンクリート劣化度調査に関する一考察	正	山根 寛	東日本旅客鉄道	吉川 正治	小枝 哲郎		
VI-249	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	人工損傷を与えた高架橋の重錘打撃特性に関する一検討	正	庄 健介	アーバン・エース	山本 和宏	山崎 裕史	吉本 博昭	
VI-250	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	コンクリート構造物の連続打音点検システムの開発	正	持丸 修一	国土交通省関東技術事務所	田中 義光	竹之内 博行	榎園 正義	竹本 憲充
VI-251	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	トラス橋疲労亀裂の原因究明と恒久対策の検討について	正	鈴木 裕之	JR東海	大木 基裕	水野 孝則	坂上 一雄	横山 雅樹
VI-252	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	経年火力発電所水路基礎木杭の健全度調査について	正	古川 俊也	東北電力	板垣 直行			
VI-253	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	浮石・転石の岩体安定度評価装置の開発	正	内藤 繁	東海旅客鉄道	時任 俊一	舟橋 秀麿	曾根 好徳	山内 政也
VI-254	4	14:40～ 16:10	VI-3	F-201	三輪 晴文	検査技術・診断	マイクロパイルの品質管理に対するインテグリティ試験の適用性	正	市村 靖光	国土交通省国土技術政策総合研	大下 武志	井谷 雅司		
VI-255	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	公共工事コスト縮減対策における設計VE成果の日米比較と考察	正	小泉 泰通	ジャス・コンサルタンツ				
VI-256	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	外部コストを組み入れた建設事業の評価に関する検討	正	神山 守	国土交通省国土技術政策総合研	藤本 聡	松井 健一	河上 誠	
VI-257	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	コンストラクションマネジメント(CM)による予算管理の事例検証	正	小林 康昭	足利工業大学				
VI-258	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	わが国の地方公共団体における「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の運用状況	正	藤島 博英	足利工業大学	小林 康昭			
VI-259	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	対話型PIプログラムに対する建設行政マネージャーの意識の分析	正	臼田 幸生	国土交通省国土技術政策総合研	松田 千周	藤本 聡	山下 武宣	
VI-260	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	米国と英国の建設生産システムの改革と今後のわが国でのあり方の一考察	正	浦田 康滋	ドーコン	阿部 賢一	伊藤 昌勝		
VI-261	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	国際建設マーケットにおける“技術協力契約”とその将来展望	正	岡本 俊彦	大成建設	相原 孝次			
VI-262	2	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	松井 健一	建設マネジメント(1)	土木分野における技術基準類の性能規定化と国際整合性確保	正	田中 和嗣	土木研究所	江本 平			

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-263	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	出来形管理基準の規格値と工事目的物の 構造安全性に関する一考察	正	村椿 良範	国土交通省国土 技術政策総合研	松井 健一	中嶋 政幸		
VI-264	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	技術提案総合評価方式における評価方法 の提案	正	西野 仁	国土交通省国土 技術政策総合研	藤本 聡	山下 武宣		
VI-265	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	建設マネジメント教育における海外留学実 態調査	学	崔 金栄	足利工業大学大 学院	藤島 博英	小林 康昭		
VI-266	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	建設施工管理の変遷に関する研究 ー明 治時代の請負契約を例にー	正	榊山 清人	全国建設研修セン ター	安孫子 義 昭			
VI-267	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	コンクリート施工に関わる技術者および技能 者の調査分析	正	亀澤 靖	大成建設	松下 博通	鶴田 浩章		
VI-268	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	設計照査システムに基づく3次元プロダクト モデルの構築に関する一考察	正	加藤 佳孝	国土交通省国土 技術政策総合研	山下 武宣	藤本 聡	矢吹 信喜	
VI-269	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	発注機関におけるISO9000s取得への取組 み	正	吉田 一	JR東日本	三輪 渡	熊本 義寛	福永 保寛	野澤 伸一 郎
VI-270	2	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	佐橋 義仁	建設マネジメント (2)	データベースシステムを活用した認定鉄道 事業者の「業務の記録」の管理	正	土方 康裕	JR東日本	上田 修司	小林 三昭		
VI-271	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	XMLを用いたWebデータベースの構築	学	清水 悠哉	武蔵工業大学	皆川 勝	田村 郷司		
VI-272	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	高速道路の保全業務システムのための XMLデータベースの試み	正	保田 敬一	ニュージェック	三上 市藏	三雲 是宏	今井 龍一	
VI-273	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	施工維持管理プロジェクトデータベースへの 取り組み～施工維持PDB基本サービスの策	正	服部 達也	国土交通省関東 地方整備局	平下 浩史	赤川 正一	堤 達也	
VI-274	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	TINを使った三次元造成モデル作成手法に 関する報告	正	山内 格	協和コンサルタン ツ	林 寿夫	高野 琢也		
VI-275	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	地理情報標準に基づく測量成果の道路事 業への適用性検討	正	光橋 尚司	国土交通省国土 技術政策総合研	河上 誠			
VI-276	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	阪神高速道路維持管理業務へのCALS適 用検討	正	黒崎 剛史	阪神高速道路管 理技術センター	丹波 寛夫	芳賀 謙一 郎		
VI-277	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	建設ASPを利用した工事管理の電子化に ついて	正	豊川 和夫	東北電力	宮城 勝文	原 昭男		
VI-278	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	電子認証技術を用いた工事打合せに関す る一提案	学	馬場 健	熊本大学	小林 一郎	山本 一浩	西本 逸郎	緒方 正剛
VI-279	2	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	柄 登志彦	建設CALS	プログラム開発におけるリスク管理	正	山田 雄治	ジオスケープ	須田 清隆	本田 陽一	小野 正樹	
VI-280	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	鳥取県西部地震時における多々羅大橋の 挙動とその検討	正	林 昌弘	本州四国連絡橋 公団	磯江 浩			
VI-281	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	台風・豪雨時の応急対策支援を目的とした 橋梁防災データ管理システムの基礎的研究	学	吉村 直記	関西大学大学院	三上 市藏	田中 成典	窪田 諭	
VI-282	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	合成桁橋の解体時における安全性照査	正	大幢 勝利	産業安全研究所	花安 繁郎			
VI-283	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	既設橋梁拡幅フローの作成と実設計での活 用	正	坪村 健二	中央復建コンサル タンツ	海本 健司	十林 崇	横山 正博	藤田 悟司
VI-284	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	豊田ジャンクション・トラス型ジベル合成床 版のモルタル漏れ防止確認試験	正	橋本 靖智	川崎重工業	猪本 真	桂 裕成	鈴木 裕二	中岡 毅

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-285	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	鋼矢板を用いた合成床版橋の各種実験結果について	正	小林 博之	川崎製鉄	神田 恭太郎	坂本 知英		
VI-286	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	ローラーを利用した鉄道橋の横移動架設	正	江坂 成利	中日本建設コンサルタント				
VI-287	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	首都高速道路上を横断する歩道橋の架設工事報告	正	前田 欣昌	東急建設	玉井 真一	伊藤 浩		
VI-288	2	14:40～ 16:10	VI-4	F-202	村田 信之	橋梁	第二東名 富士川橋におけるジャッキアップ工・強制変形による応力改善	正	米田 幸司	日本道路公団	高橋 昭一	貞光 誠人	笠倉 和義	
VI-289	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	凍結コンクリートの気密性に関する実験結果	正	若林 雅樹	清水建設	渡辺 修	中野 正文		
VI-290	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	凍結土の気密性に関する実験結果	正	川村 佳則	東京ガス	中野 正文	若林 雅樹		
VI-291	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	LNG地下タンクの水張試験時の底版挙動	正	佐甲 はるみ	清水建設	桐山 久	小林 且典	若林 雅樹	丸山 克夫
VI-292	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	トンネル内の火災による構造部材の熱伝導解析	学	松田 貴之	早稲田大学大学院	清宮 理			
VI-293	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	鉄道営業線直下における開削・山岳併用トンネルの計画および施工検討ー東急東横線反町駅地下化工事報告(その1)ー	正	山本 隆昭	東京急行電鉄	小林 理志	関 聡史	坂田 真一	斎藤 茂
VI-294	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	鉄道営業線直下のトンネル施工における計測管理ー東急東横線反町駅地下化工事報	正	小坂 琢郎	鹿島建設	坂田 真一	松岡 誠一	斎藤 茂	萩原 智寿
VI-295	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	大規模ターミナル駅直下における深礎の機械化施工について	正	西澤 政晃	JR東日本	鈴木 昌司	米津 真博	松野 正行	名越 雅男
VI-296	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	大規模ターミナル駅直下における路下式地下連続壁の施工例	正	井澤 孝治	大林組	佐藤 進	吉川 宏	中根 理	渡辺 弘美
VI-297	3	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	渡部 昭一	特殊構造物	新形式道路護岸(フレア護岸)の設計手法と試製作	正	市川 靖生	神戸製鋼所	三田村 浩	今野 久志	井上 雅弘	梅木 宏也
VI-298	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	耐波浪性能向上型浮体構造物に関する実験的研究	F	上田 茂	鳥取大学	池田 宗弘	井上 俊司		
VI-299	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	ケーソン中詰め材への製鋼スラグ利用検討(第2報)	正	篠崎 晴彦	新日本製鐵	中川 雅夫	小林 茂雄	横尾 正義	
VI-300	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	スカート基礎を有する防衝工の施工(その1:製作・設置)	正	浅井 隆一	大林組	善田 好信	米田 博		
VI-301	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	スカート基礎を有する防衝工の施工(その2:姿勢制御)	正	廣長 周治	大林組	上原 康之	米田 博		
VI-302	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	スカート基礎を有する防衝工の施工(その3:貫入抵抗と予測式の比較)	正	伊藤 政人	大林組	崎本 純治	米田 博	渡辺 朗	
VI-303	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	15,000kN級ケーソンの吊筋荷重の不均等係数と底面付着力の現地計測	正	大谷 英夫	大成建設	大村 啓一	秋山 敦		
VI-304	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	斜杭式棧橋のプッシュオーバー解析	正	横山 竜治	日立造船	上田 茂	濱田 純次		
VI-305	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	軟弱地盤上の護岸築造における沈下管理の一手法	正	為廣 哲也	東洋・大旺・前田・三井・りんかい・浅	大西 正夫	岸本 和重	谷口 君洋	
VI-306	3	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	多田 彰秀	港湾海洋	海域環境を配慮したセメント固化処理土の水中施工方法について	正	湯 怡新	関門港湾建設	宮崎 良彦			

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-307	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	コルゲートシースタイプ永久アンカーの細径 化	正	小原 直	大成建設	太田 光彦	平野 逸雄	片岡 邦昭	晴山 七郎
VI-308	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	鉄道CFTラーメン高架橋地中梁－柱接合部 における設計施工	正	中島 大使	JR九州	瀧口 将志	田熊 幸二	津高 守	
VI-309	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	ソイルセメント鋼製地中連続壁その1／施工 性確認実験	正	洪沢 重彦	東急建設	田崎 和之	田中 卓也	石田 宗弘	
VI-310	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	H形鋼・RC合成壁の正曲げ載荷時の終局 耐力に関する一考察	正	内藤 幸弘	東電設計	富所 達哉	吉本 正浩		
VI-311	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	真空工法によるヒーピングに対する抑止効 果の検証	学	川崎 栄久	八戸工業大学大 学院	塩井 幸武	熊谷 浩二		
VI-312	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	ソイルセメント鋼製地中連続壁その2／床版 接合部の繰り返し耐荷特性	正	田崎 和之	新日本製鐵	広沢 規行	石田 宗弘	今福 健一 郎	
VI-313	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	H形鋼・RC合成壁の負曲げ載荷時の挙動 に関する一考察	正	吉本 正浩	東京電力	富所 達哉	内藤 幸弘		
VI-314	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	斜杭を用いたマイクロパイルで補強した既 設基礎の水平載荷模型実験	正	井谷 雅司	土木研究所	大下 武志	市村 靖光	森脇 正博	
VI-315	4	09:00～ 10:30	VI-4	F-202	村田 重之	土留基礎	最新の開削技術に関するアンケート調査	正	諸田 元孝	住友建設	田辺 大次 郎	結城 知史	大野 一昭	工藤 賢悟
VI-316	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	急勾配法面による東通原子力発電所本館 基礎掘削工事(その1)－急勾配法面の設	正	羽鳥 明満	東北電力	嶋田 祥一	田中 耕一		
VI-317	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	急勾配法面による東通原子力発電所本館 基礎掘削工事(その2)－急勾配法面の健	正	伊藤 悟郎	東北電力	佐藤 道夫	玉村 公児		
VI-318	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	粘性土を主体とした高盛土の耐震安定性追 跡調査	正	林 徹	パシフィックコンサ ルタンツ	戸松 周	服部 隆行	原田 泰之	
VI-319	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	線路下横断構造物建設時の補助工法選定 法の開発	正	津野 究	鉄道総合技術研 究所	岡野 法之	小島 芳之	吉川 和行	齋藤 貴
VI-320	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	物理探査を用いた地盤改良の品質確認	正	倉石 泰男	鹿島	吉川 正	稲生 道裕	升本 一彦	関 政男
VI-321	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	低透水性岩盤における動的注入工法の適 用	正	山本 拓治	鹿島技術研究所	日比谷 啓 介	伊達 健介	白井 俊輔	大場 康信
VI-322	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	粉体噴射攪拌工法における変位抑制方法 に関する一考察	ASC E	植村 大輔	清水建設	進藤 芳樹	杉原 克郎		
VI-323	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	鉄道における盛土上防音壁の設計風荷重 の考え方	正	吉村 剛	鉄道総合技術研 究所	村田 清満	今井 俊昭	種本 勝二	平岡 慎雄
VI-324	4	10:40～ 12:10	VI-4	F-202	西垣 和弘	土構造物・地盤改 良	砂質地盤の定常掘削特性のモデル化に関 する基礎的研究	学	小林 泰三	立命館大学	深川 良一	片木 聖樹	金森 洋史	佐々木 健
VI-325	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	遠心力を利用した小型泥水脱水機の脱水 性能の予測に関する研究	学	松浦 敦	立命館大学大学 院	深川 良一	建山 和由	勝見 武	
VI-326	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	軟弱地盤におけるORタイヤの走行特性に 及ぼす空気圧の影響	正	Tran Dang Thai	愛媛大学	室 達朗	江口 忠 臣	中 俊二	
VI-327	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	表層固結地盤の破壊沈下特性の違いが移 動式クレーンの転倒に与える影響	正	玉手 聡	産業安全研究所	末政 直晃	土屋 法久	堀井 宣幸	片田 敏行
VI-328	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	コンテナクレーンの地震時輪荷重に関する 模型振動実験	正	塩崎 禎郎	NKK	菅野 高弘	山本 俊介	佐藤 栄治	南部 俊彦

第56回年次学術講演会プログラム VI 部門

講演 番号	講演 日	講演 時間	会場	教室	座長	セッション名	講 演 題 目	会員 区分	講演者	所属	連名者1	連名者2	連名者3	連名者4
VI-329	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	新型軌道陸上兼用車の開発	正	小谷 貴信	ユニオン建設	麻生 秀樹			
VI-330	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	自在ボーリングを用いた地盤改良工法の開発	正	相河 清実	鹿島建設	山崎 浩之	横尾 充		
VI-331	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	光弾性手法によるトンネル覆工応力監視器の開発	正	茂木 初邦	東日本旅客鉄道	佐藤 治	浅岡 敏明	小出 泰弘	
VI-332	4	13:00～ 14:30	VI-4	F-202	建山 和由	建設機械	河川管理用機械設備の遠隔監視による故障対応の迅速化	正	江原 正隆	国土交通省	服部 達也	荒井 猛		